

「どうして、9条についてはどう思いますか？」

話の途中でそう切り出したら、あなたの周りの人はどんな反応を示すだろうか？

職場では、「めんどくさいことを言うヤツだ」としらけた空気が流れるかもしれない。

友達からは、「いつから左になったの？」と怪訝な顔をされるかもしれない。

家族からは、「ダメだ」と言われるだろうか。ましてこんな世の中である。

「改憲反対！」などと少しばかり大きな声で言えば、「ちょっと危ない人じゃない？」とレッテルを貼られそう。

しかし、それよりも「げんぼうって、なんだっけ？」「9条ってどういうこと」と、肩すかしをくらわされ

ることもあるだろう。そんな反応が怖くて、日常生活の中で「9条の話でもしよっか！」と言い出すことは、

なかなか勇気のいることになってしまっている。

インターネット上のウェブサイト『マガジン9条』では、この「ところで、9条についてはどう思いますか？」

という問いを、いろんな分野の人にぶつけ続けている。

本書に収録されているのは、2006年3月までに登場した22人のインタビューだ。あんな面白い仕事

をしている人が、こんなにまじめに9条について、語ってくれている。

間違いなく日本人のよりどころであった「9条」について、改めてみんなで話をするところだが、日本再生

の核を見つげるためにも、幸せな人生を送るためにも、必要なだと私たちは考えている。なぜなら9条を

どうするかは、政治家でも官僚でもなく、私たち国民が決めることなのだから。

本書が、そのための手がかりの一冊になってくれれば、うれし。

(前書きより)

本書に収録されている人たち (掲載順)

橋本治(作家) 香山リカ(精神科医) 黒田征太郎(画家、イラストレーター) 広井王子(ゲーム・クリエイター)
いとうせいこう(作家、クリエイター) 毛利子来(小児科医) 辛淑玉(人材育成コンサルタント) 木村政雄(フリープロデューサー)
大田昌秀(参議院議員) きむらゆういち(絵本・童話作家) 早苗NENE(歌手) 姜尚中(国際政治学者) 雨宮処凛(作家)
愛川欽也(俳優、司会者) 上原公子(国立市長) ジャン・ユンカーマン(映画監督) 石坂啓(マンガ家) 中川敬(ミュージシャン)
伊藤千尋(新聞記者) 渡辺えり子(劇作家、演出家、女優) 松本侑子(作家、翻訳家) 辻信一(文化人類学者、環境活動家)

『マガジン9条』とは？

憲法9条のことをよく知らない人、9条を変えてもいいんじゃないのという人に、9条のことを知り、考えてもらうためのインターネット上のウェブマガジン。2005年3月スタートして以来、毎週水曜日に更新を重ねている。



●現在、新書応援キャンペーン実施中。こちらをご覧ください。→ <http://www.magazine9.jp/> マガジン9条